

# PALTEK

(証券コード:7587)

2016年12月期 第2四半期  
決算説明資料

2016.8.4 (木)

## アジェンダ

- ① 2016年12月期 第2四半期  
業績結果
- ② 2016年12月期 業績予想
- ③ 事業の進捗状況

1

## 2016年12月期 第2四半期 業績結果

## 連結業績結果

(百万円)	2015年第2四半期		2016年第2四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	13,308	100.0%	17,286	100.0%	3,977	29.9%
売上総利益	2,141	16.1%	1,618	9.4%	△523	△24.5%
販管費	1,394	10.5%	1,521	8.8%	127	9.2%
営業利益	747	5.6%	96	0.6%	△651	△87.1%
経常利益	713	5.4%	116	0.7%	△597	△83.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	454	3.4%	51	0.3%	△402	△88.6%
1株当たり四半期純利益	40.93円	—	4.72円	—	△36.21円	△88.5%

### 主な増減要因

- 売上高の増加は、半導体事業の増加による
- 売上総利益の減少は、ドル円相場が急速に円高に進行したため、仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額が減少したことなどによる
- 販管費の増加は、主に人員の増加による

(百万円)	2015年第2四半期		2016年第2四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
半 導 体	12,524	94.1%	16,307	94.3%	3,782	30.2%
デ ザ イ ン ス サ ー ビ ス	704	5.3%	924	5.4%	220	31.3%
そ の 他	79	0.6%	54	0.3%	△24	△31.2%
売 上 高 合 計	13,308	100.0%	17,286	100.0%	3,977	29.9%

### 主な増減要因

- 半導体事業の増加は、メモリ製品が海外メーカーに大幅に増加したこと、およびFPGAが新規顧客向けに増加したことによる

## ■ 売上総利益率の低下は、以下の2つが要因

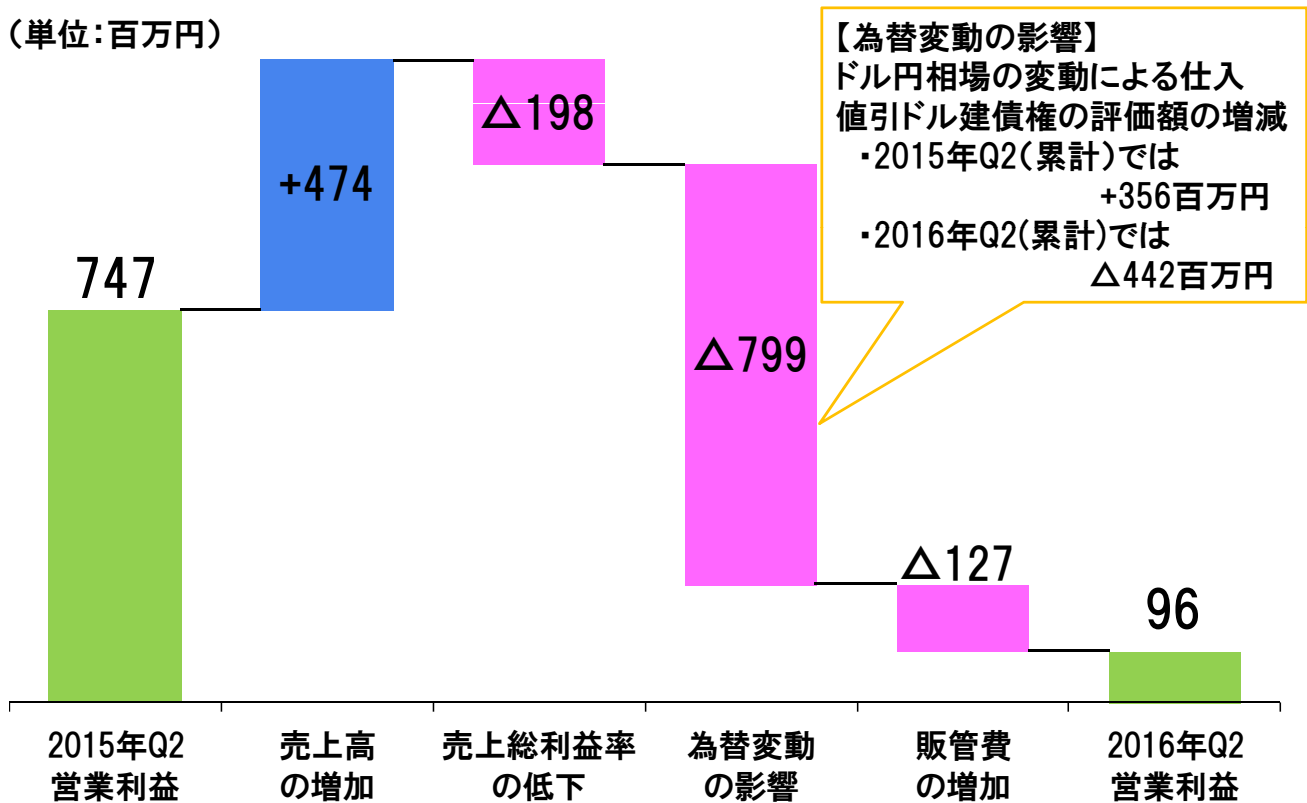
- 半導体事業において、売上総利益率の低い案件の売上高が大幅に増加
- ドル円相場の急速な円高進行により、仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額が減少したため、売上原価が増加  
そのため、2016年第2四半期の売上総利益は442百万円減少  
(2015年第2四半期では、円安基調のため356百万円増加していた)

(※仕入値引ドル建債権の説明は、本資料の参考資料に記載)

(百万円)	2015年第2四半期		2016年第2四半期	
	金額	対売上比率	金額	対売上比率
売 上 総 利 益	2,141	16.1%	1,618	9.4%
(うち為替の影響額)	356	2.7%	△442	△2.5%
売 上 総 利 益 (為替の影響を排除)	1,785	13.4%	2,060	11.9%

## 営業利益の増減分析

(単位:百万円)



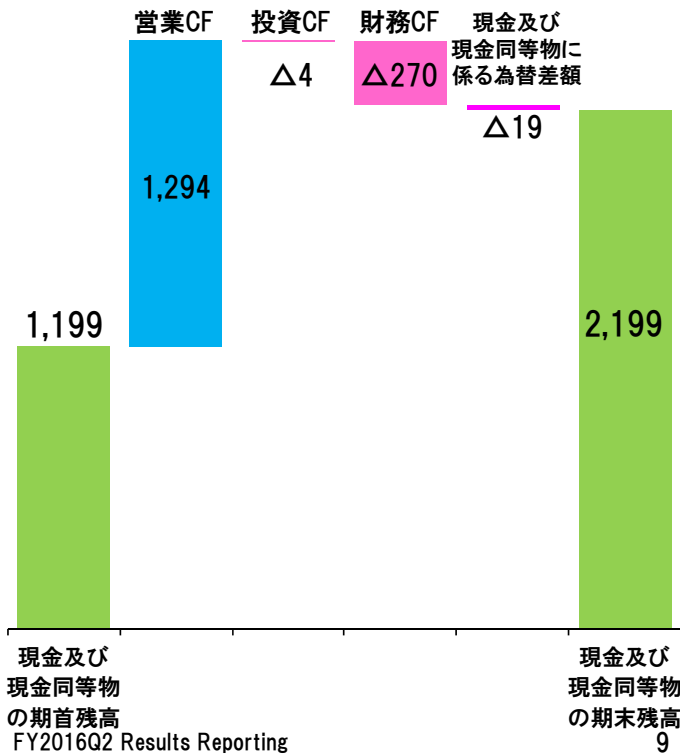
【為替変動の影響】  
ドル円相場の変動による仕入  
値引ドル建債権の評価額の増減  
・2015年Q2(累計)では  
+356百万円  
・2016年Q2(累計)では  
△442百万円

## 連結貸借対照表の状況

	(百万円)	2015.12末	2016.6末	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	1,199	2,199	1,000	売上債権の回収が進んだため
	売上債権	7,367	5,685	△1,682	期末付近での売上高が減少したため
	商品	3,918	3,895	△22	
	その他流動資産	2,988	3,011	23	
	固定資産	504	478	△26	
資産合計		15,977	15,269	△707	
負債純資産内訳	仕入債務	1,047	977	△69	
	短期借入金	4,130	4,040	△90	
	その他流動負債	1,468	1,047	△420	未払金および未払法人税等が減少したため
	固定負債	283	270	△13	
	純資産	9,048	8,934	△113	
負債・純資産合計		15,977	15,269	△707	

# 連結キャッシュ・フローの状況

## 2016年第2四半期のキャッシュフローの動き (百万円)



(百万円)	2015年 第2四半期	2016年 第2四半期
現金及び現金同等物の期首残高	2,058	1,199
営業CF	△1,954	1,294
投資CF	△25	△4
財務CF	1,920	△270
現金及び現金同等物の期末残高	1,999	2,199

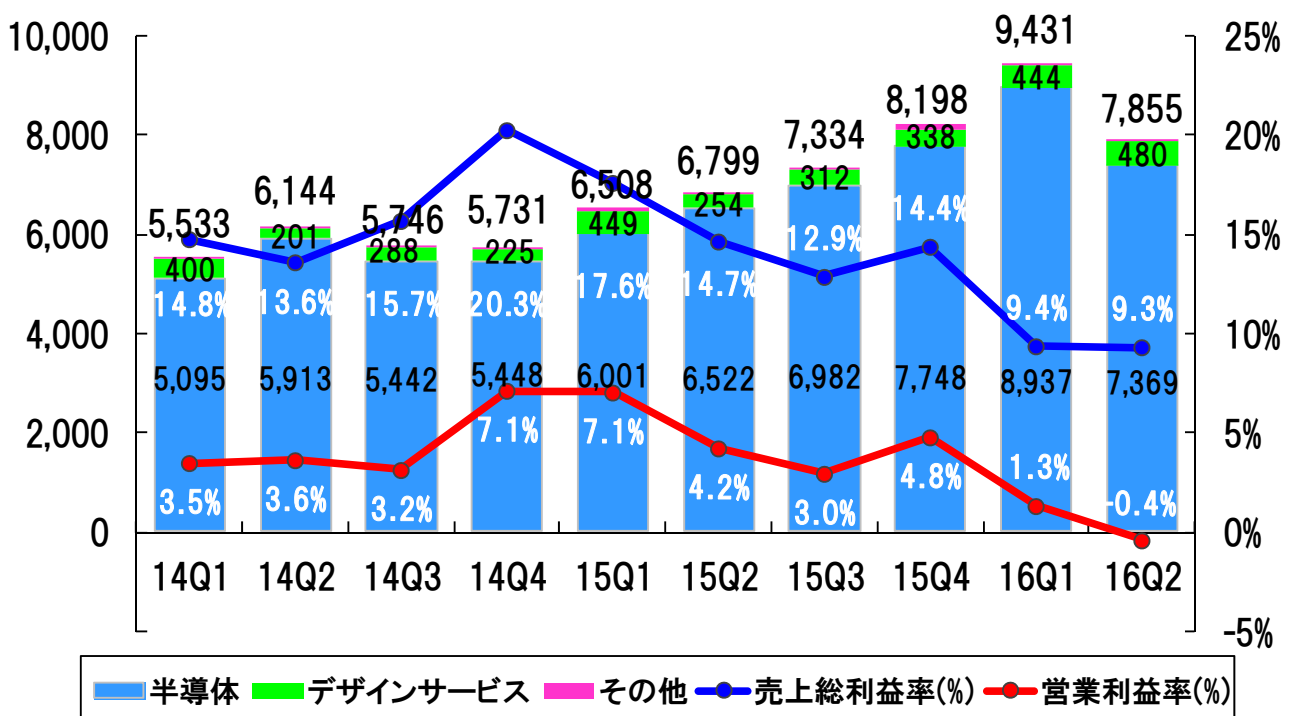
## 2016年第2四半期のキャッシュフローの動き

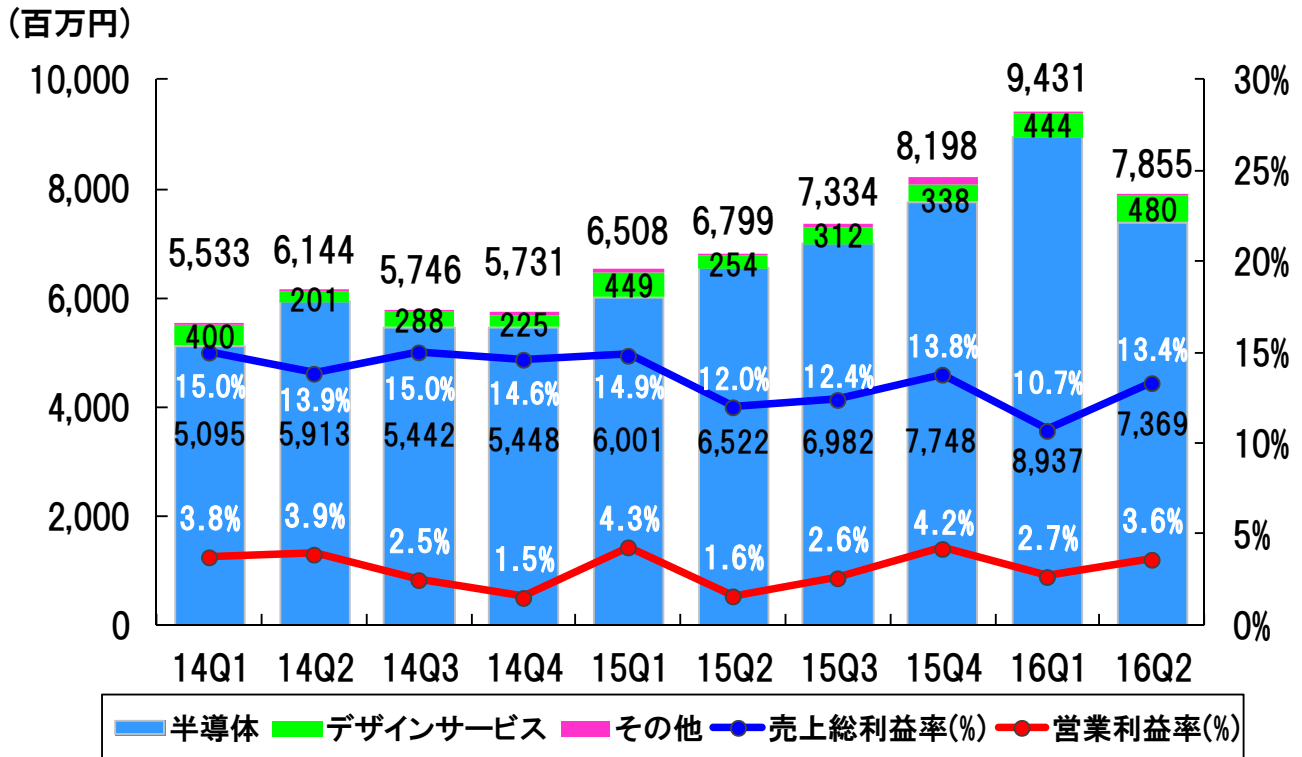
- 営業CF: 税金等調整前四半期純利益の計上および売上債権の減少等により収入
- 投資CF: 有形固定資産および無形固定資産の取得等により支出
- 財務CF: 配当金の支払実施および短期借入金の返済等により支出

© 2016 PALTEK Corporation. All rights reserved.

# 連結業績の四半期推移

(百万円)

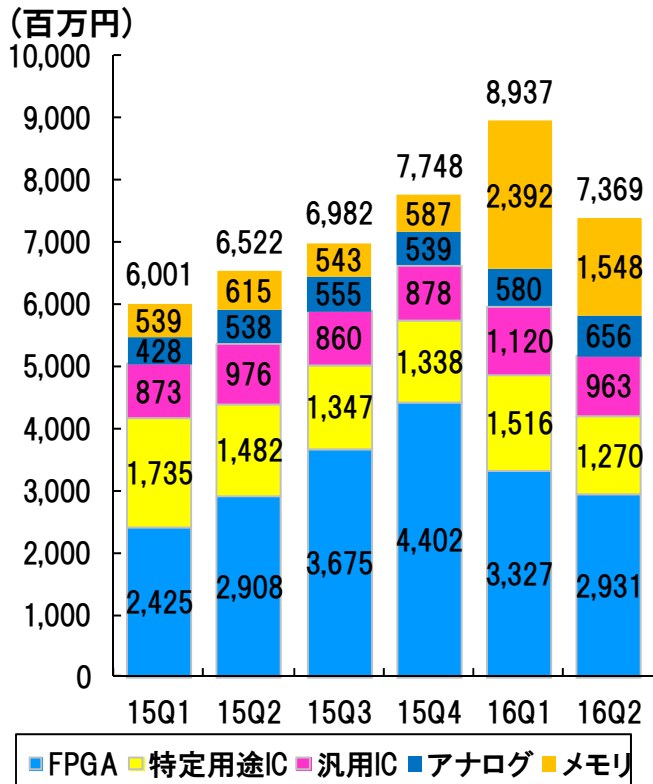




## 事業別の実績



## 半導体事業の状況（製品別）



FY2016Q2 Results Reporting

13

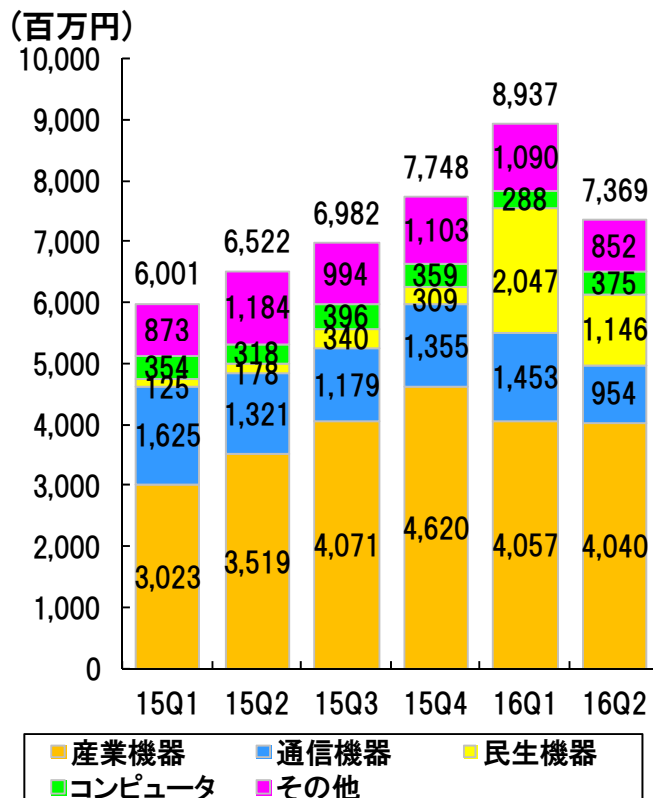
© 2016 PALTEK Corporation. All rights reserved.

### 四半期業績の推移

- FPGA**  
携帯電話基地局等の通信機器向けが減少
- 特定用途IC**  
ブロードバンド通信機器向けが減少
- 汎用IC**  
オフィス機器向けが減少
- アナログ**  
オフィス機器向けが増加
- メモリ**  
民生機器向けが減少



## 半導体事業の状況（用途別）



FY2016Q2 Results Reporting

14

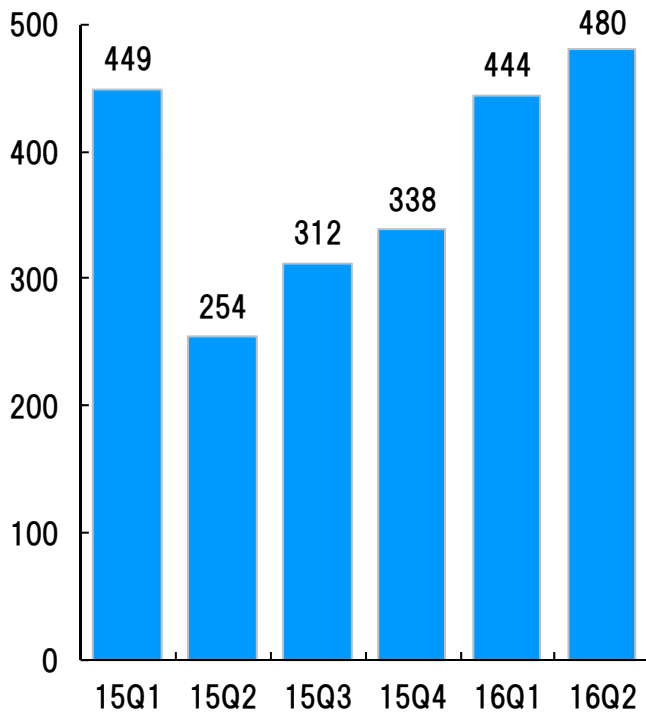
© 2016 PALTEK Corporation. All rights reserved.

### 四半期業績の推移

- 産業機器**  
計測機器向けが増加するも、オフィス機器向けが減少
- 通信機器**  
基地局およびブロードバンド通信機器向けが減少
- 民生機器**  
海外メーカー向けが減少

※ 2015年度の「その他」の項目に「産業機器」の数字が一部入っておりますので、今回修正を行っております

(百万円)



## 四半期業績の推移

- 医療機器向けの案件が堅調
- ODM案件が増加しているため、第2四半期において売上高が増加

(受託開発はお客様(3月決算会社)の予算との連動性が高いため、第2四半期の売上高は第1四半期に比べ、減少する傾向にある)

## 2

## 2016年12月期 業績予想



ドル円相場の急速な円高進行による影響により、業績を下方修正。  
 配当予想は維持。

## ■ 通期の見通し

- 売上高 : メモリ製品が牽引し増加
- 営業利益 : 急速な円高進行により、仕入値引ドル建債権の評価額の減少等の為替の影響が通期で△785百万円発生すると見込むことで売上原価が増加し、営業利益は大きく減少

## ■ 配当予想

- 実力値ベースでは、増収増益となるため、配当は1株当たり13円を維持

(※) 当社は、7月8日と8月3日に業績予想の修正を行っております。本資料においては、2つの業績修正の内容を合わせて説明しております。

個々の修正内容の詳細については、7月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」および8月3日公表の「業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(百万円)	2016年12月期業績予想 修正予想(5/9)			2016年12月期業績予想 修正予想(8/3)			上期増減		通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	16,550	15,450	32,000	17,286	15,713	33,000	736	4.4%	1,000	3.1%
売上総利益	1,715	2,360	4,075	1,618	1,951	3,570	△96	△5.7%	△505	△12.4%
売上総利益率	10.4%	15.3%	12.7%	9.4%	12.4%	10.8%	—	—	—	—
販管費	1,575	1,675	3,250	1,521	1,718	3,240	△53	△3.4%	△10	△0.3%
営業利益	140	685	825	96	233	330	△43	△31.4%	△495	△60.0%
営業利益率	0.8%	4.4%	2.6%	0.6%	1.5%	1.0%	—	—	—	—
経常利益	145	635	780	116	183	300	△28	△20.0%	△480	△61.5%
当期純利益	82	403	485	51	123	175	△30	△37.8%	△310	△63.9%

- 2016年5月9日に発表した業績予想においては、為替レートを1ドル当たり109.77円と想定
- 急速な円高進行により、仕入値引ドル建債権の評価額の減少等が発生し、売上原価を押し上げ、利益が減少

## 【為替変動による影響見込額】

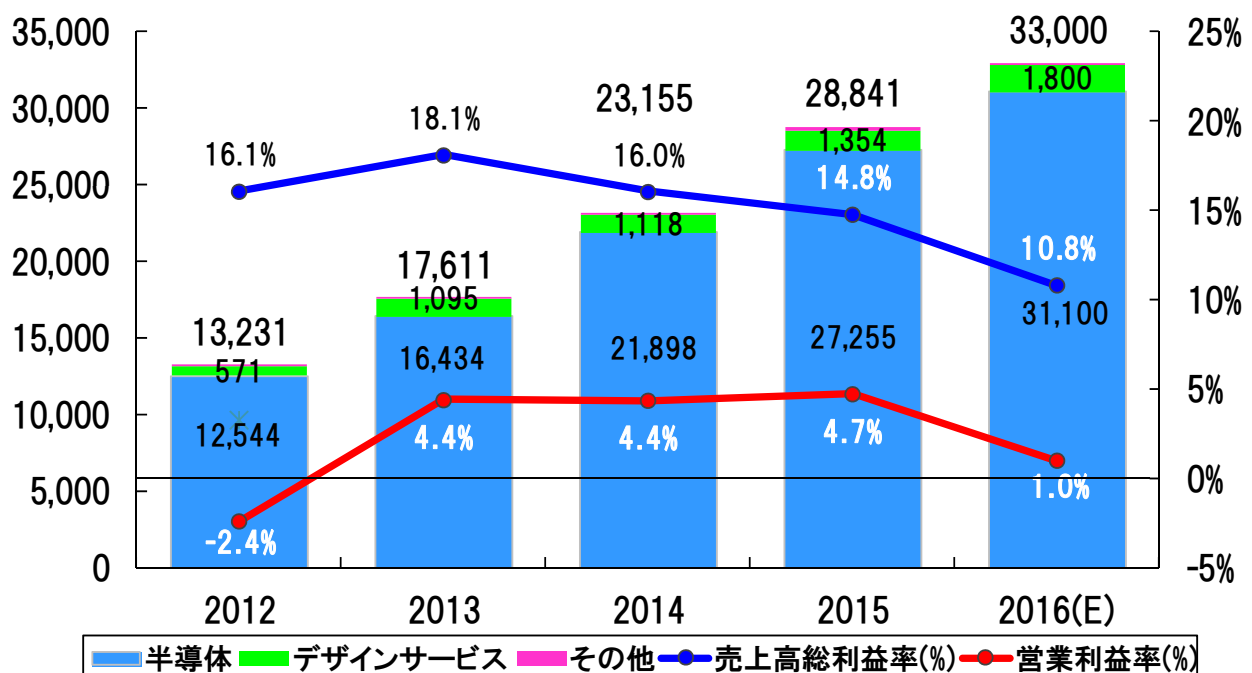
第2四半期(累計):  $\Delta$ 442百万円 が発生

下半期において、現時点では $\Delta$ 343百万円の影響が発生すると見込む

(算出のために使用した為替レート: 102.96円)

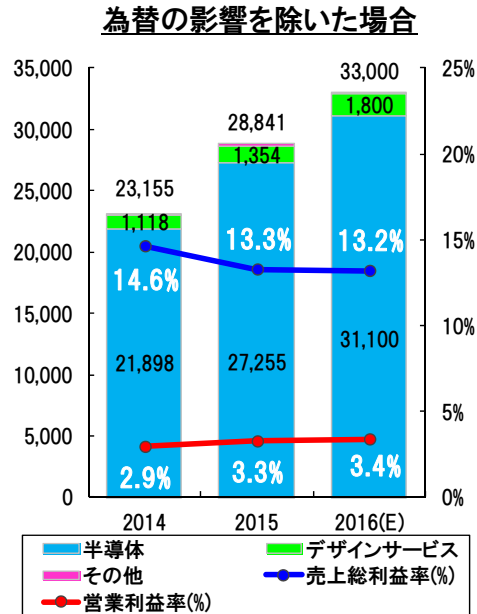
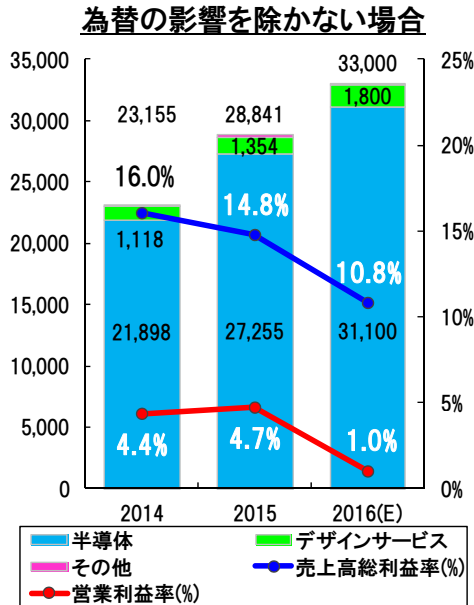
通期において、 $\Delta$ 785百万円の影響が発生すると見込む

(単位: 百万円)



## 為替の影響を除いた業績予想比較

- 2014年、2015年では、円安進行により仕入値引ドル建債権の評価額が増加し、原価を押し下げたが、2016年では同評価額が減少し、原価を押し上げている
- この評価額の増減を含む為替の利益に与える影響を排除した場合、2016年12月期については実力値ベースでは増益となる



## 為替の影響を除いた業績推移(営業利益)

- 為替レートの変動による仕入値引ドル建債権の評価額の増減等の影響を除いた場合、実力値ベースでの営業利益は増加傾向

(百万円)	2014年12月期 実績		2015年12月期 実績		2016年12月期 予想	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	23,155	100.0%	28,841	100.0%	33,000	100.0%
営業利益	1,008	4.4%	1,361	4.7%	330	1.0%
為替変動 による影響	+327	1.4%	+431	1.5%	△785	△2.4%
営業利益 (為替変動による 影響を排除)	681	2.9%	929	3.2%	1,115	3.4%

## 株主還元方針および1株当たり配当金

- 利益配分については、経営基盤の強化や将来の事業展開を考慮し、適正に配分。株主の皆様へは、配当金にて還元いたします
- 2016年12月期配当金は、実力値ベースでの業績が増加傾向にあるため、期末配当金は、1株あたり13円から変更いたしません

## 配当金の推移

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年 (予)
1株当たり配当金	5円	5円	8円	8円	15円(※)	13円
配当性向(連結)	118.5%	—	20.6%	16.2%	24.4%	81.4%
当期純利益(百万円)	48	△106	443	563	674	175

※ 普通配:12円、記念配:3円

- 導入の目的
  - 当社株式への投資魅力を高め、中長期にわたって多くの株主の皆様にご当社株式を継続して保有していただくため
- 対象となる株主様
  - 毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有している株主様
- 株主優待の内容
  - 毎年12月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、優待品(クオカード)を年1回贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上～500株未満	クオカード500円分	クオカード1,000円分
500株以上～1,000株未満	クオカード1,000円分	クオカード2,000円分
1,000株以上	クオカード2,000円分	クオカード3,000円分

- 開始時期
  - 2016年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有する株主様を対象に開始

# 3

## 事業の進捗



## PALTEKの方向性

### ■ 企業理念

- 「多様な存在との共生」

### ■ 経営方針

- 社会的意義ある価値を創出するため、ニーズとシーズを照らし合わせた、製品提案、ソリューション開発。収益性の高い経営を目指す

### ■ 事業展開

- 創業以来の基盤事業である「半導体事業」
- 新たな事業領域を開拓する「デザインサービス事業」、「スマートエネルギー事業」

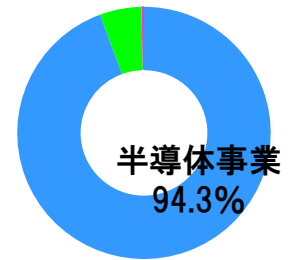
2016年12月期第2四半期  
(累計)売上構成比

## ■ 事業の方向性

- 安定的に収益を確保する事業を目指す

## ■ 戦略

- FPGA市場の拡大
- IoT市場への新たな取り組み
- 成長市場への注力:  
産業機器、医療機器、通信機器、放送機器、車載機器
- デマンド・クリエーションの強化
- 付加価値高い製品の開発と開拓



## ■ 新規プロジェクト獲得の強化・継続

## ■ 中小顧客の拡大、パートナーとの連携強化

## ■ デザインサービス事業との連携

## ■ 成長市場への注力

- 通信機器 : 5Gワイヤレス
- 産業機器、放送機器、医療機器、航空・宇宙  
: Industrial IoT、8K/4K関連機器、ロボット、  
クラウドコンピューティング
- 車載機器 : ADAS(先進運転支援システム)

## ■ 付加価値提案の実施

- 自社製品「GearBox」で、FPGAと画像伝送インタフェースIC、電源、メモリなどを搭載(後述)

## ■ FPGAに次ぐ第2の柱となる製品



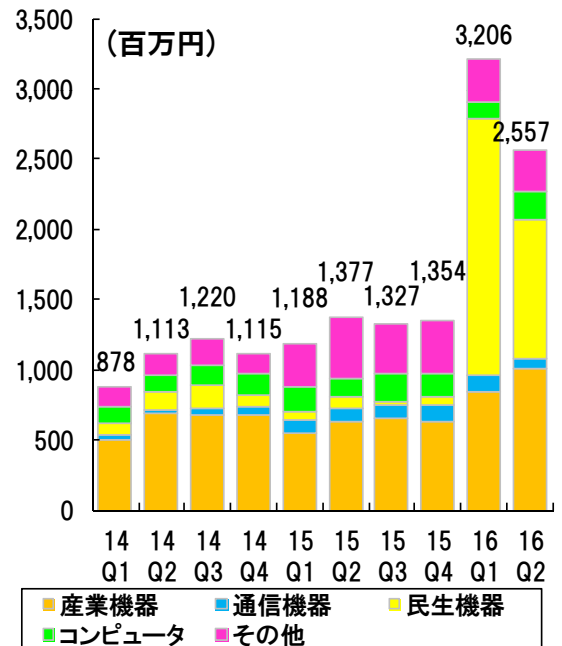
## ■ 顧客層拡大により売上増加

- 民生機器向けメモリが大幅に減少  
(市場変動により大きく増減)
- 産業機器分野の幅広い顧客向けが増加

## ■ デザインサービス事業との連携

- 自社製品「GearBox」に、  
マイクロン社、リニアテクノロジー社  
製品を搭載(後述)

第2の柱となる主要4製品の売上推移



## ■ SDIインターフェースの伝送レート変換ボード「GearBox」の開発

- 4K映像の非圧縮伝送が可能な12G-SDIの変換を実現  
⇒ 多くの顧客から反響あり(設計受託、ODMなど)
- 放送機器、医療機器、セキュリティ機器向けに  
SDIインターフェース用半導体やFPGAなどの拡販に活用
- FPGA内の回路設計データ、基板回路設計データを提供



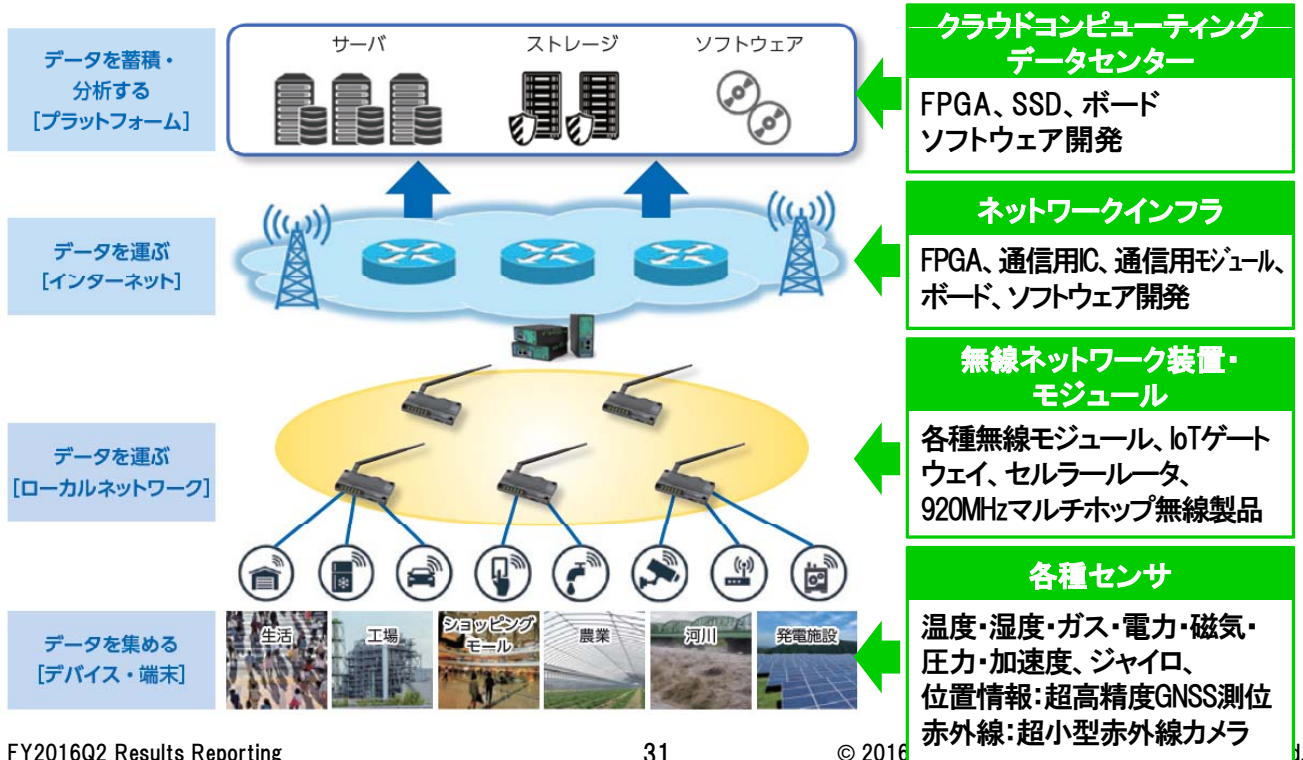
映像入力元が12G-SDIに対応していない場合



映像出力先が12G-SDIに対応していない場合



## IoTインフラ向けに端末からデータセンターまで製品ラインを拡充



## 「センサからクラウドまで IoTに関するソリューション」を展示会で提案

### ■ 「第5回 IoT/M2M 展 春」に出展

- 開催日 : 2016年5月11日(水)~5月13日(金)
- 場所 : 東京ビックサイト
- 概要 : M2Mシステムを構築するための無線通信技術、センサや、様々なアプリケーションが一堂に集結する専門展

### ■ 「COMPUTEX TAIPEI 2016」に出展

- 開催日 : 2016年5月31日(火)~6月4日(土)
- 場所 : 台湾台北市、台北南港国際展示場ほか4会場
- 概要 : 上流工程の部品製造からシステム組み立てやIoTアプリケーションに至るまで、ICTのあらゆる領域をカバーする展示会

### ■ 「SORACOM Conference 2016」に出展

- 開催日 : 2016年7月13日(水) ・場所 : ベルサール新宿グランド
- 概要 : IoT向けの通信プラットフォーム「SORACOM」を提供する(株)ソラコムが主催するカンファレンス

- トピックス: ロバステル社の産業IoT向けセルラールータがソラコムの認定デバイスに選定







# IoT/M2M展に出展 (2016年5月11日～13日)

～センサからゲートウェイ、クラウドまでのIoTに関連するソリューションを展示～



多くのお客様がブースに来ていただき  
当社のIoTソリューションについて説明



各種のセンサからの情報を無線でクラウドに



FLIRの赤外線センサの  
デモンストレーション「真実の口」



# COMPUTEX Taipei(2016年5月31日～6月4日、台北)



海外の皆様にも、当社のIoTソリューションについて説明。  
また、当社製品を販売していただく会社の発掘も行う。



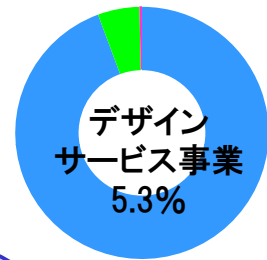
## ■ 事業の方向性

- 日本メーカーが得意とする医療、放送等の産業分野、通信分野の開発をサポートし、付加価値の高い製品・サービスを提供

## ■ 戦略

- 設計受託の強化
- ODMの更なる展開
- 自社製品開発・販売
- 開発環境販売・サポート  
(ツール、評価ボードの販売等)

2016年12月期第2四半期  
(累計)売上構成比

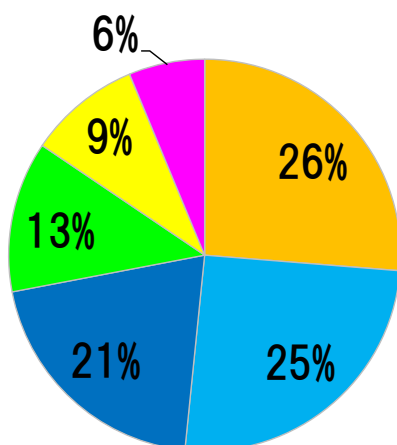


ODM(Original Design Manufacturing):

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと

- 航空/宇宙分野、医療機器、監視カメラやファクトリーオートメーション等の産業機器向けが堅調に推移
- ODM/EMSの比率は約50%

2016年第2四半期(累計)での用途別売上構成



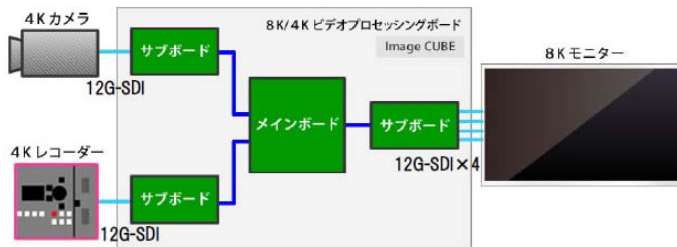
- 航空/宇宙
- 医療
- 産業機器
- 通信機器
- 研究開発/その他
- 映像/放送

## 自社製品の開発①

- 12G-SDIインターフェースに対応した8K/4Kビデオプロセッシングボード「Image CUBE」を開発
- 今後の8K/4Kの普及により求められる映像伝送インターフェースの高速化に対応
- 活用事例
  - 4K映像から8K映像への変換(アップコンバート)
  - 8K映像に文字情報や他の映像を合成



### システム構成例



### 活用例

4Kから8Kのアップコンバート

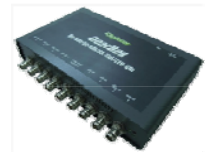


## 自社製品の開発②

- SDIインターフェースの伝送レート変換装置「GearBox」の開発
  - 4K映像の非圧縮伝送が可能な12G-SDIの変換を実現



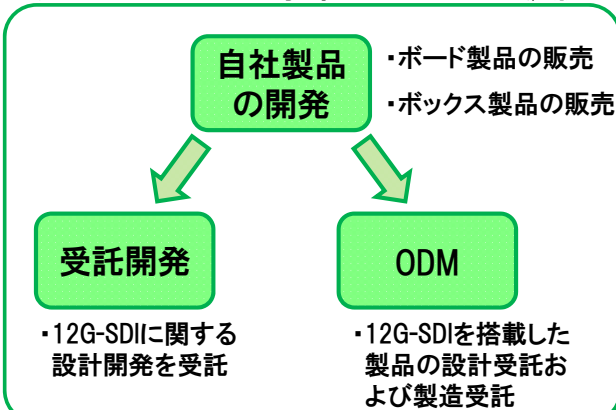
ボード製品



ボックス製品

- 複数にわたるビジネス展開が可能

### デザインサービス事業でのビジネス展開



### 半導体事業でのビジネス展開

- ・「GearBox」の販売時には、開発のためのリファレンスデザインも提供される
- ・当社取扱いの半導体が採用され、販売が増加することとなる





メイコム社ブースにてPALTEKのソリューションを展示

Image CUBEの動態展示:  
4K映像を8K映像にアップコンバート

Image CUBEボードの静態展示

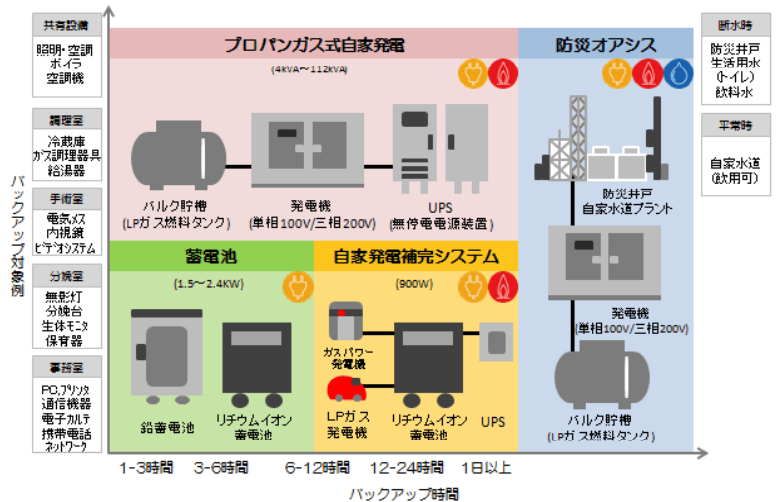
Image CUBEの動態展示

### ■ 事業の方向性

- スマートエネルギーソリューションの開拓・販売を通じて、エネルギー面からの持続可能な社会構築に貢献する

### ■ 戦略

- 長時間(72時間以上)提供可能な病院向け停電対策システムの構築および販売
- ニーズに基づいた新製品ソリューションの構築



## ■ 社会福祉法人阿吡会 特別養護老人ホーム穂の国荘 様(愛知県) 【特別養護老人ホーム、デイサービスセンター】

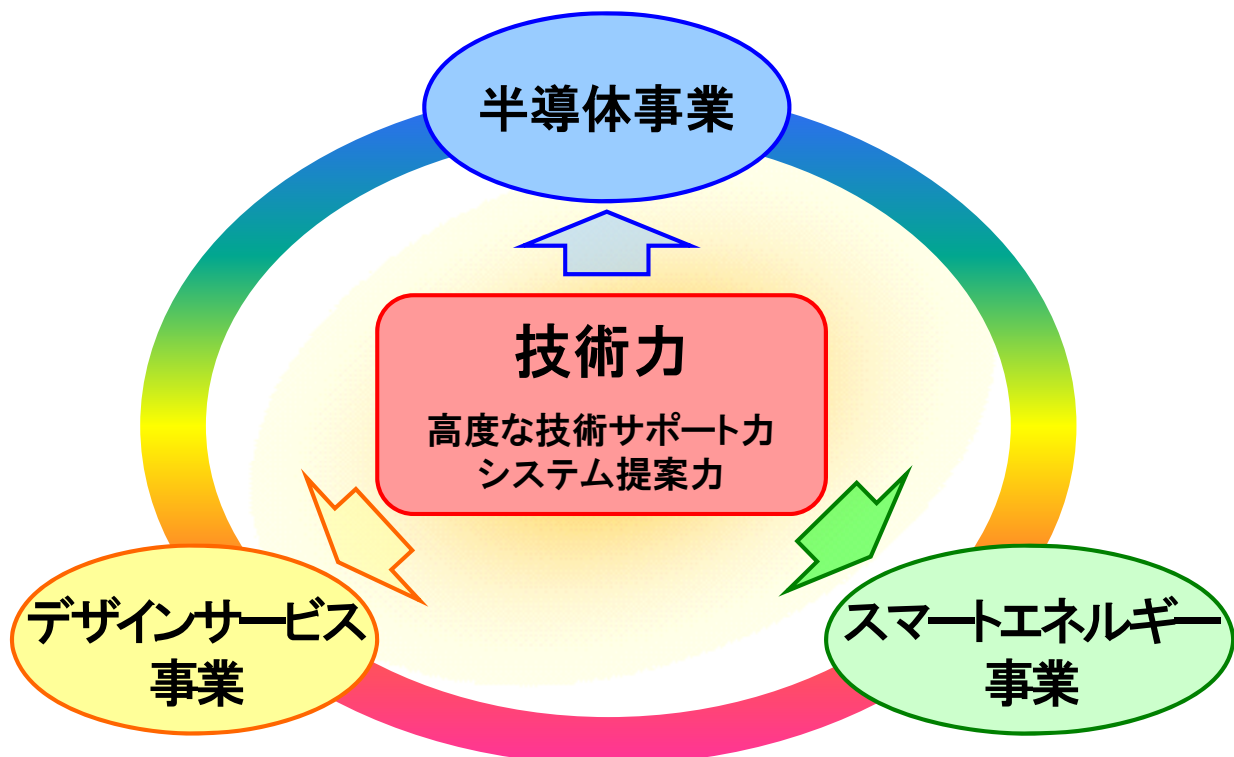
- 導入の背景
  - 災害時の長時間停電時には入居様者(要介護3~5の方)に安心・安全に過ごせる環境の整備が必須
  - 人工呼吸器を利用されている入居者に対する非常用電源の確保は、早急に解決すべき課題
- 導入の結果
  - プロパンガス式自家発電機を導入
  - 事務所や厨房の利用が可能に。各居室では、ヘッドライト・ナースコールの利用、人工呼吸器の電源バックアップが可能に



非常用発電機 (設置: ガステックサービス様)



施設概観



ご清聴ありがとうございました。

参 考 資 料

(百万円)	2016年12月期業績予想 修正予想(5/9)			2016年12月期業績予想 修正予想(8/3)			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
半導体	15,640	14,390	30,030	16,307	14,792	31,100	1,070	3.6%
FPGA	6,500	7,150	13,650	6,259	7,140	13,400	△250	△1.8%
特定用途IC	2,860	2,470	5,330	2,786	2,513	5,300	△30	△0.6%
汎用IC	2,000	1,700	3,700	2,083	1,616	3,700	—	—
アナログ	1,150	1,550	2,700	1,236	1,463	2,700	—	—
メモリ	3,130	1,520	4,650	3,940	2,059	6,000	1,350	29.0%
デザインサービス	840	960	1,800	924	875	1,800	—	—
その他	70	100	170	54	45	100	△70	△41.2%
売上高合計	16,550	15,450	32,000	17,286	15,713	33,000	1,000	3.1%
営業利益	140	685	825	96	233	330	△495	△60.0%

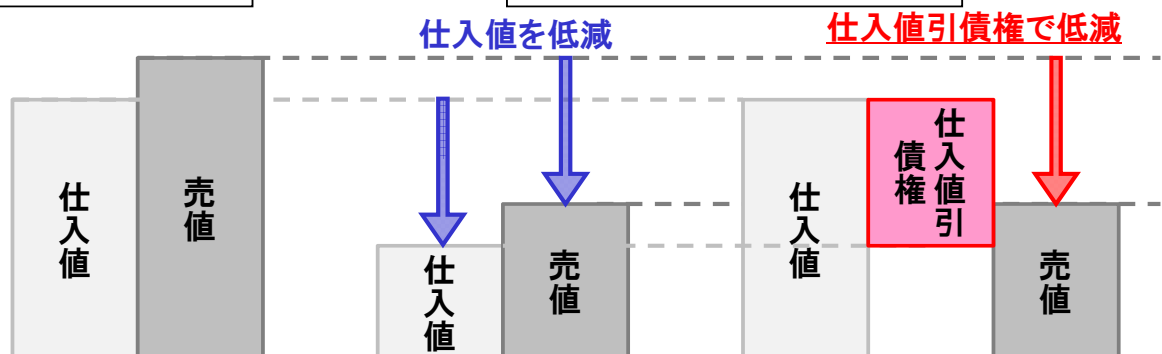
## 為替変動による影響の発生要因①

### 【仕入値引ドル建債権の為替変動による影響】

- 当社が仕入先に対して保有する『仕入値引ドル建債権』が、為替レートの変動により評価額が増減することで、業績に大きな影響を与える
- 仕入値引ドル建債権について：
  - 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
  - その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
  - その実現方法は、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」

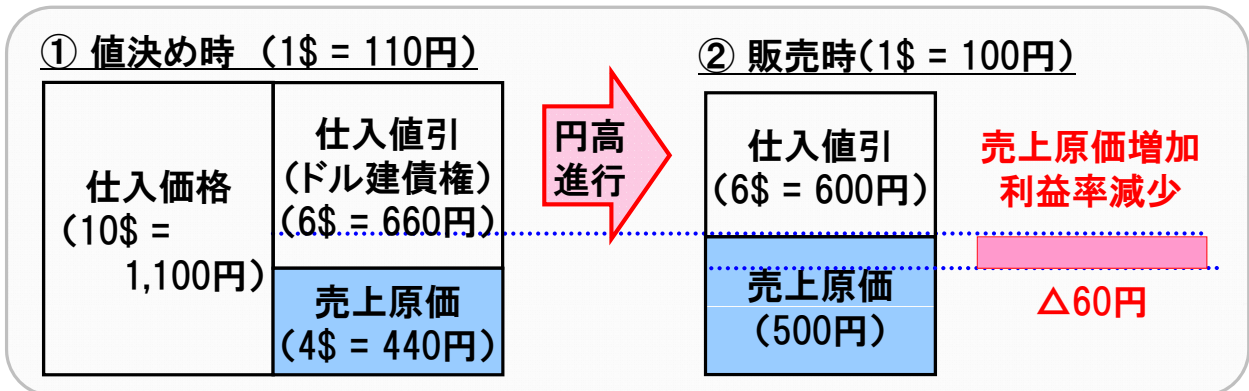
通常価格で取引

量産案件では値引価格で取引



- 仕入値引債権の評価額の増減は、値決め時と販売時の為替レートの差により生じる
- そのため、急速に円高が進行すると、為替レートの差が大きく生じるため、仕入値引債権の評価額が大幅に減少
- これにより、売上原価が増加し、売上総利益が減少

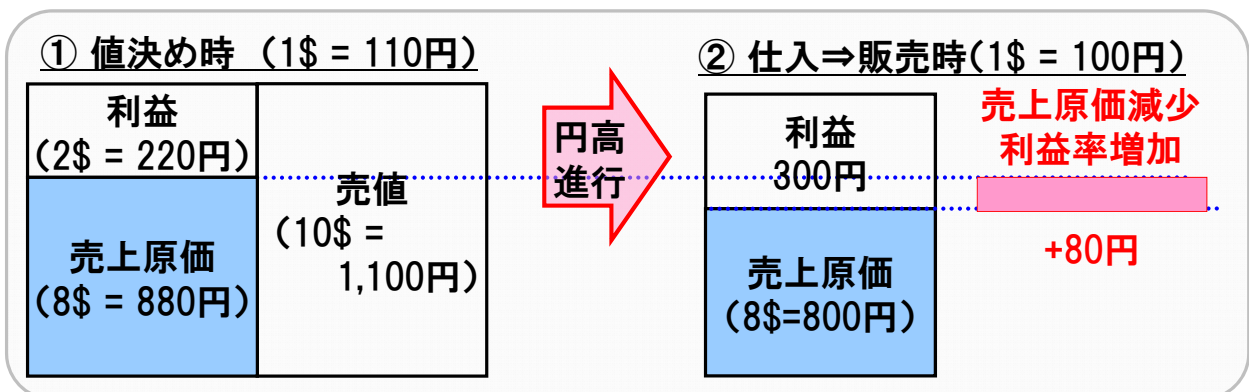
例: 仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化



【調達在庫の為替変動による影響】

- 海外から仕入れたドル建の製品において、為替レートが円高に進行することにより、売上原価が減少し、売上総利益は増加

例: 仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化





- 「仕入値引ドル建債権の為替変動による影響」と「調達在庫の為替変動による影響」は相殺関係
- 当社のビジネスにおいては、「仕入値引ドル建債権の為替変動による影響」のほうがビジネスボリュームが大きいいため、急速な円高進行は当社業績にマイナスの影響となる
- 為替レートが1円円高に進行すると、売上総利益に対して、月に約10百万円のマイナスの影響が生じる

開示区分	内容説明
半導体事業	半導体及び関連製品の販売、技術支援
FPGA	ザイリンクス社のFPGAを中心とするソリューション
特定用途IC	特定用途に特化した半導体を中心とするソリューション (例:通信向け、インタフェース向け、携帯端末向け等)
汎用IC	NXPセミコンダクターズ、マイクロチップテクノロジー社等の汎用ICを中心とするソリューション
アナログ	リニアテクノロジー社等のアナログ半導体を中心とするソリューション
メモリ	マイクロンテクノロジー社等のメモリを中心とするソリューション
デザインサービス事業	受託開発、ODM/EMS/OEM、自社製品の販売
その他	上記のカテゴリに属さないソリューション

以下の担当までお問い合わせ下さい。

柴崎 由記（総務グループ IR担当）

## 株式会社PALTEK

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL :045-477-2016

FAX :045-477-2012

E-mail :ir@paltek.co.jp

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合